



南あわじ市

議会だより

第87号

令和7年10月31日発行



南あわじ市議会
ホームページ



マチロ



南あわじ市議会
YouTube



<https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/site/gikai/>

未来を担う子ども議員の願いとは!



子ども議員たちが「南あわじ市の将来について」発言し、市議会議員が答弁を行いました。

志知城跡を観光スポットにしたまちづくり

えのもと 榎本 みいな 議員(志知小)

志知城跡の知名度を上げるため、観光客や地元の人が立ち寄れるベンチや遊具のある公園にしてほしい。また、志知城のキャラクターグッズを作り、特産品と一緒に販売できる観光スポットにしてはどうか。

【答弁】土井議員



地域の魅力を未来へつなぐ

にし ゆうみ 西 紬心 副議長(倭文小)

雨の日でも楽しめる室内型の体験型文化交流施設が必要。アスレチック、しづおりや瓦作りなどの体験、ドッグランスペースなどがあれば観光客や市民が集い、南あわじ市の魅力を再発見でき、未来へ伝える場となる。

【答弁】大江議員



津井幼稚園を幅広い世代の交流の場に

やまもと そうた 山本 蒼大 議員(辰美小)

津井幼稚園を幅広い世代の人たちが楽しめる交流の場にしてほしい。まだ使える遊具や建物を活用し、遊び、学習、読書ができる場所にすると、子どもや親、高齢者が交流でき、地域の絆が深まり大きなメリットとなる。

【答弁】仲野議員



安心して暮らせる街の実現を目指して

ながて かえで 長手 楓 議員(神代小)

安心して暮らせる街の実現をテーマに話合った。オニオンロードに街灯があれば事故の防止につながり、夜に災害が発生しても安全に避難できる。また、太陽光発電を利用することでSDGsの達成にもつながる。

【答弁】北条議員



さらに魅力ある南あわじ市にするために

やすとみ しょうご 安富 翔吾 議員(榎列小)

イングランドの丘は魅力がいっぱいある。割引券などがもらえるスタンプカードを作ったり、イベント情報のQRコードが入ったポスターを観光地やバス停など色々な所に貼れば、もっとたくさんの人が来てくれるのではないかな。

【答弁】中村議員



沼島と淡路島をつなぐ

なかもと りみ 中元 凜美 議員(沼島小)

沼島と淡路島をもっと行き来しやすくし、沼島の良さを知ってもらいたい。そのために、市民の汽船代を無料か特別料金にしてほしい。さらに福良からの直通バスがあれば観光客も増え、島の元気につながり、市全体が住みやすくなる。

【答弁】蛭子議員



未来の南あわじ市への願い

なぬしがわ きつぺい 名主川 桔平 議員(賀集小)

ららウォーク跡地に防災公園を。南あわじ市は災害対策や少子化などの課題があるが、災害時だけでなく日常から交流や子育て支援の場となる防災公園があることで課題解決につながり、魅力あふれる南あわじ市の実現につながる。

【答弁】谷口議員



たくさんの人に愛される地域を目指して

いしもと ほのか 石本 暖乃花 議員(松帆小)

「美しい慶野松原の景観を未来へ!ごみなしキャンペーン」を提案する。内容は花火大会の受付でゴミ袋を渡して、帰りにゴミ袋と淡路島の特産物を交換するというもの。そうすれば、みんなで故郷の美しさを守っていくことができる。

【答弁】原口議員



子どもだからできる魅力の発信方法について

もりこし らいる 森腰 礼琉 議員(北阿万小)

自然豊かでやさしさあふれる南あわじ市の魅力をもっと知るために、市の広報作成者から出前授業を受け「広報ジュニア版」を作った。この活動を通して南あわじ市の魅力を再発見できたので、子ども目線で発信できる機会を作してほしい。

【答弁】吉田議員



安心して観光ができる町に

まつもと はんな 松本 帆菜 議員(福良小)

地震や津波の際に誰でも避難しやすい施設を福良口につくることを提案する。福良口は津波もこないし、防災訓練で避難場所にされたこともある。備蓄や校外学習ができ、日頃から利用できるパン屋さんなどがあると身近でいい。

【答弁】長船議員



よりよい南あわじ市に

やまぐち いつき 山口 樹生 議員(八木小)

交通の便の改善を提案する。家からバス停までの移動はタクシーや臨機応変にルートを変える乗り合いバスで、バス停からは交通手段の検索、予約、支払いのできるマースを利用する。これで、僕たちは一人で遠くの習い事に行けるし、高齢者や観光客も移動が楽にでき、事故や渋滞も減る。

【答弁】木場議員



だれにとってもスムーズに過ごせる学校を目指して

まつなみ かれん 松並 かれん 議員(市小)

市小学校には段差が多くあり、こけたり、つまずいたりする。給食のワゴンもとても押しにくく、車いすの移動にも苦労する。トイレの洋式化も含め、誰でも安心して過ごせる学校にするため、学校をユニバーサルデザイン化してほしい。

【答弁】廣内議員



安全な遊び場を

やじま ゆかこ 矢島 裕佳子 議長(阿万小)

全児童にアンケートを取ると98%の児童が公園がほしいと答えた。ターザンロープやトランポリンなどのある公園が阿万にあれば、人々の交流が広がり、サイクリストの休憩場所にもなる。阿万に安全に遊べる公園を造ってほしい。

【答弁】阿部議員



南あわじ市をもっと素敵な街にするために

もりもと りお 森本 莉生 議員(湊小)

様々な人から意見を聞き、幅広い世代がゆっくり過ごせる交流の場所が少ないことに気づいた。空き地をドッグランやスポーツができる公園にしたり、空き家を1人で本を読んだり、子どもが集まって学習ができる場所にすることで、地域の魅力をさらに高めたい。

【答弁】印部議員



南あわじ市と地域の人のために

つばき さな 椿 咲風 議員(広田小)

玉ねぎやレタス、そうめんなどを使うお祭りや大会を開催して、たくさんの人に淡路島の美味しい食べ物を知ってほしい。また、雨の日や暑い日でも思い切り遊べるボールプールやトランポリンがある室内施設をつくれれば、多子若齢化につながり、市が活性化する。

【答弁】熊田議員



一緒に南あわじ市を支えていこうね!

令和6年度 決算審査

開催期間 9月12、16、17日

委員長：長船 吉博 副委員長：阿部 守 委員：議長と監査委員を除く全議員

一般会計

生活情報発信

シティプロモーション推進事業 849万5,000円

市のLINE公式アカウントの運用において、高齢者や未登録者などLINEを利用しない層への配慮が必要である。また、LINEだけでなくInstagramなど時代に沿ったコミュニケーション手段にも引き続き着目し、情報発信や機能の拡充を行うことで、全ての市民に便利でアクセスしやすい情報提供を実現していただきたい。



まちづくり

集会所等建設事業補助金 784万円

自治会管理の施設が補助対象になるとのことだが、いきいき100歳体操などの地域コミュニティを醸成する活動が、自治会が管理していない施設で実施されていることもある。そのような施設も地域にとっては必要であるため、補助対象とすることを検討していただきたい。



コミュニティバス運行事業 1億4,920万6,000円

停留所から自宅までの移動手段の確保が課題となっている。

課題を解決するためには様々な問題があると考えられるが、きめ細やかに集落に入れるような小型車両の導入や、フリー乗降区間の見直しなど、より一層工夫し、課題解決に努めていただきたい。

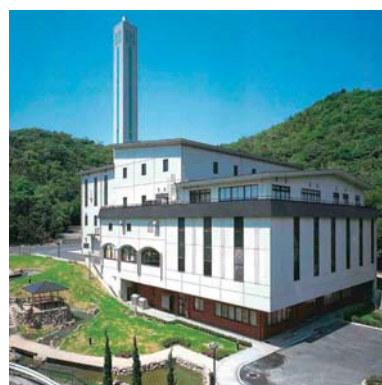


環境

清掃総務事業 2億9,622万8,000円

令和元年度時点では、洲本市よりも南あわじ市のごみの減量化が進んでいたということだが、令和4年度からのごみの処理量をみると洲本市に比べ南あわじ市は減量化が進んでいない。

このまま令和11年度にごみ処理の淡路地域広域化が実施されると、南あわじ市の負担金が増大してしまうため、ごみの減量と再資源化について、目標と具体的な方策を示し、結果を出していただきたい。



▲やまなみ苑

保育

休日保育運営費補助金 278万円

休日保育を利用した場合は、振替として平日に保育所を休まなければならないとのことだが、経済的理由で保護者がダブルワークを行っている、平日に保育所を休むのが難しい場合も考えられるため、ニーズを踏まえた柔軟な対応を検討していただきたい。



健康

クア施設管理運営事業 7,182万8,000円

市の温浴施設は修繕や運営にかかるコストの増加により赤字経営が続いており、現在の運営体制のまま将来にわたり継続していくのは難しいと思われるため、何らかの方策を検討しなければならないと考える。高齢者の健康維持やコミュニケーションの場としての役割を担っている点など、様々な観点を考慮したうえで、持続可能な方向性を示していただきたい。



▲リフレッシュハウスゆーぷる

■討論 反対 吉田 良子 議員

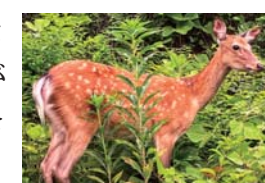
討論要旨 事業全てにおいて反対ではなく、学校給食無料化、就学援助家庭への支援、こども医療費助成制度の所得制限の撤廃、市営住宅の建設や学校の体育館のエアコン設置などを実施すべきであった。今後、灘黒岩水仙郷は黒字化を目指すべきである。

■議決結果 賛成多数で認定。

農業

有害鳥獣対策事業 4,832万7,000円

令和6年度のシカとイノシシの捕獲頭数は目標を上回っているにもかかわらず、農作物の被害状況が悪化している。この事業の目的は農業被害の削減であるため、それが実現できていないということは捕獲頭数の目標が甘いのではないかと考える。また、抜本的な対策を講じるためには、人員を増やす必要があると考えられるので、関係機関とよく協議し、成果の上がる取組を行っていただきたい。



教育

小学校図書購入費 421万6,275円

小学校の図書購入費は、小規模校でも最低20万円を確保しており、小学校では子どもの頃から読書に親しむことができるように、図書室を子どもたちが本を手に取りやすい環境にリニューアルしたり、朝読や読み聞かせを行ったりすることで、子どもたちの読書への興味関心を高めているとのことである。

しかし、中学生になると読書離れが進み、情報を本や新聞ではなくSNSなどデジタルで入手することが多くなってくる。

本や新聞を読み、情報を得ることは重要であるため、小学生の頃から、新聞を活用できるような取組にも力を入れていただきたい。



議案の審査で こんな議論をしました（会期：8月29日～9月26日）

令和7年度一般会計補正予算（第3号）

■議案内容

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2億5,766万円を追加。

▶住宅用太陽光発電設備等導入補助金
760万5,000円の追加

■主な質疑

問 どんな事業内容なのか。

答 環境への影響が少ない太陽光発電設備の設置を推進し、温室効果ガスの排出削減を目指すため、自家消費型の住宅用太陽光発電設備と蓄電池を一体的に導入する際に支援する事業である。

問 補助額は。

答 太陽光パネルと蓄電池のセットで、それぞれ補助額と上限が定められている。太陽光

パネルは1kWあたりの補助金が上限7万円、最大補助額が5kWまでで35万円。蓄電池は、工事費を含めた補助率は3分の1で、1kW当たりの補助額は上限4万7,000円、最大補助額は5kWまでで23万5,000円となる。両方とも上限に達した場合、合計で58万5,000円である。

この補助金を活用した場合、17年間使用していただくことになる。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

デジタル防災行政無線システム
再整備工事請負契約の締結

■議案内容

パナソニックコネクト株式会社現場ソリューションカンパニー西日本社と18億1,500万円で契約。

■主な質疑

問 この工事に市内の業者は関わるのか。

答 前回と同様、戸別受信機の設置と利用方法についての説明は市内の業者が行う。

問 国からの助成はあるのか。

答 国の緊急防災・減災事業債を活用し、事業費の70%が交付税算入される予定で、残りの約5億4,000万円を市が負担する。

問 防災行政無線は停電時にも使用できるのか。

答 本庁舎の親局には非常用発電を、スピーカーがある子局には72時間の蓄電池を備えるため使用可能である。

問 オニオンタワー撤去跡地の活用方法は。

答 電柱を立て、スピーカーを設置する予定である。現在より約2.3倍広い範囲で聞こえるようになる。また、新しく赤外線ライト付きカメラを設置する予定である。

■議決結果

賛成多数で原案可決。



▲設置予定の戸別受信機

▲屋外スピーカー

公共下水道条例の一部を改正する条例制定

■議案内容

能登半島地震の被災地で排水設備等の復旧が遅れたことから、災害その他非常の場合において、他の市町村長の指定を受けた指定工事店に排水設備等の工事を発注できるようにするため所要の改正を行う。

■主な質疑

問 個人が直接発注するものか。

答 被災時に個人が、他市も含め指定を受けた指定工事店に工事を依頼するものである。

財産の譲与
（生産物直売所丸山漁港「魚彩館」）

■議案内容

株式会社まるやまとに譲与する。

■主な質疑

問 どれぐらいの人数の雇用を想定しているのか。

答 正社員が6名、パート・アルバイトが10名、一部業務委託部分が12名、出向が5名と聞いている。

問 来場者数の見込みは。

答 年間20万人を見込んでいる。令和4年度の兵庫県観光客動態調査報告書による南あわじ市への観光入込客数が年間260万人、令和6年度の鳴門みさき荘、イングランドの丘、大鳴門橋記念館の3施設の観光入込客数が年間110万人であり、令和10年開通予定の大鳴門橋自転車道による観光客の増加も見込んでいる。

問 これまでの魚彩館との違いは。

答 以前は漁港漁場整備法の制約の中で魚の販売のみであったが、漁港施設等活用事業制

問 その他非常の場合とは。

答 国民保護法による緊急対処事態や感染症の拡大等、市内の業者が工事を受注できない場合である。

問 昨今、悪質商法によるトラブルも多い中、指定工事店であることを市民へどう周知するのか。

答 広報紙やホームページ、それ以外での方策も検討していく。

■議決結果

賛成多数で
原案可決。



度により、飲食の提供、海洋環境学習施設や釣り堀等の集客施設の整備も可能となったため、集客が期待できる。

問 集客が想定より少なく、経営が悪化した場合、資金調達等について市は関与しないとのことであるが、今後どのように関わっていくのか。

答 海業の趣旨は、漁港の遊休地を最大限に活用し、民間事業者が参入できるようにすることであるため、運営に対して市が直接支援することはできないが、この海業の取組は水産業の振興や魚の消費増進に繋がる取組でもあるので今後も共に盛り上げていきたい。

■議決結果

賛成多数で原案可決。



▲魚彩館

■**広田財産区管理会委員の選任**〔敬称略〕
同意 藤江 宏之 田中 茂廣 泊 博文 小坂 利夫
齋藤 新太 奈良 照久 井本 浩嗣
任期 令和7年10月1日～令和11月9月30日
■**洲本市・南あわじ市山林事務組合議会議員の選任**
同意 藤江 宏之 田中 茂廣 泊 博文 小坂 利夫
齋藤 新太 奈良 照久 井本 浩嗣
任期 令和7年11月11日～令和11月11月10日

子どものゆたかな学びと育ちを保障するための、
カリキュラム・オーバーロードの解消と
2026年度政府予算に係る意見書採択の請願



■請願内容

現行の教育課程基準に基づく学校カリキュラムは、過度に詰め込まれた授業時数と内容により、子どもと教職員に大きな負担を強いています。そのため、次期学習指導要領では内容の精選と標準授業時数の削減が強く求められています。

また、厳しい財政状況下で自治体間の教育格差が深刻化しています。2006年に義務教育費国庫負担率が引き下げられた経緯があります。国は憲法上の要請である全国均一の教育水準を保障する必要があります。

学校現場では貧困、いじめ、不登校、教職員の長時間労働など多様な問題が山積しており、2020年度の調査では不登校児童・生徒数が41万人を超え、特に小・中学校で11年連続増加し過去最高となっています。

このような中で、十分な教材研究や授業準備の時間確保が困難になっています。学校の働き方改革の推進には、加配教員の増員や少数職種の配置改善を含む教職員定数の見直しが不可欠です。

こうした観点から、2026年度政府予算編成において下記事項が実現されるよう、地方自治法第99条の規定にもとづき国の関係機関への意見書提出を請願いたします。

1. 子どもの豊かな学びと育ちを保障するため、授業の時数と内容が過度に詰め込まれている状態の早期改善にむけ、学習指導要領の内容の精選等をおこなうこと。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度を堅持すること。
3. 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配職員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。
4. 自治体で国の標準を下回る「学級編制基準の弾力的運用」の実施ができるよう加配の削減はおこなわないこと。
5. 新卒者の就業機会や教職員の年齢構成のバランスの確保等の観点を十分に考慮し、すべての自治体で定年引き上げ期間中に教職員の安定的な新規採用ができるよう、定数加配措置をはじめとした必要な財政措置を講じること。

■請願者 南あわじ教職員組合

■紹介議員 印部 久信

■採決結果 賛成多数で採択。

■意見書提出先 衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、財務大臣、
総務大臣、文部科学大臣

議決結果一覧

■全議員賛成の議案

提出者	議 案 名		議決結果
市長	令和6年度決算認定	土地開発事業特別会計決算の認定	認定
市長		産業廃棄物最終処分事業特別会計決算の認定	認定
市長		国民宿舎事業特別会計決算の認定	認定
市長		広田財産区特別会計決算の認定	認定
市長		福良財産区特別会計決算の認定	認定
市長		北阿万財産区特別会計決算の認定	認定
市長		沼島財産区特別会計決算の認定	認定
市長		下水道事業会計決算の認定	認定
市長	令和7年度一般会計補正予算(第3号)		原案可決
市長	職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定		原案可決
市長	市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定		原案可決
市長	淡路鳴門岬公園開発基金条例の一部を改正する条例制定		原案可決
市長	印鑑条例の一部を改正する条例制定		原案可決
市長	公共下水道条例の一部を改正する条例制定		原案可決
市長	デジタル防災行政無線システム再整備工事請負契約の締結		原案可決
市長	字の区域の変更(八幡北地区)		原案可決
市長	市道路線の認定		原案可決
市長	市道路線の変更		原案可決
市長	財産の譲与(生産物直売所丸山漁港「魚彩館」)		原案可決
市長	財産の譲与(丸山漁業活性化センター)		原案可決
市長	損害賠償額の決定及び和解		原案可決
市長	広田財産区管理会委員の選任		同意
市長	洲本市・南あわじ市山林事務組合議会議員の選任		同意
請願	子どものゆたかな学びと育ちを保障するための、カリキュラム・オーバーロードの解消と2026年度政府予算に係る意見書採択の請願		採択
総務文教 常任委員会	子どものゆたかな学びと育ちを保障するための、カリキュラム・オーバーロードの解消と2026年度政府予算に係る意見書		原案可決
議会運営委員会	議会会議規則の一部を改正する規則制定		原案可決

■賛否の分かれた議案

議長（久米啓右）は表決に加わらない。（○は賛成、×は反対）

提出者	議 案 名	議決結果	印部久信	土井巧	阿部守	谷口博文	中村三千雄	原口育大	仲野加枝	蛭子智彦	大江幸司	長船吉博	廣内孝次	北条志津子	吉田良子	熊田司	木場徹	長江和代	蔭山順子
市長	令和6年度決算認定	一般会計決算の認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
市長		国民健康保険特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
市長		後期高齢者医療特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
市長		介護保険特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
市長	物品売買契約の締結(浄水器付大型自走式水洗トイレカー)		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○

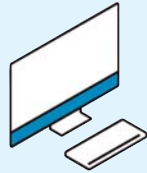
市政を問う

～より良い南あわじ市へ～

9月8日、9日、10日、11日の4日間にわたって、議員16人が一般質問を行いました。
 なお、市ホームページで「一般質問」の動画を配信していますので、ご覧ください。
※動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。

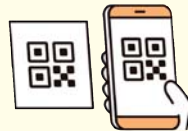
ホームページからの閲覧方法

市のホームページから
 →「南あわじ市議会」
 →議会映像の放送「録画放送」
 →「一般質問の録画配信」へ



QRコードからアクセス！

スマートフォンやタブレット等で質問議員のQRコードを読み取ると、「一般質問」の録画映像をご覧ください。



議員名	質問内容
阿部 守	- 沼島の保育園 - 市の海水浴場のバリアフリー化 - 未来へつなぐ！南あわじっ子 大阪万博体験ツアー - 通学路の安全確保 - MINA・KATSU
蛭子 智彦	- 沼島の活性化 - 放棄空き家、放棄田の対策 - 町ぐるみ健診事業 - 三原川水系河川整備計画の状況 - 平和教育、施策
長船 吉博	- 英語教育 - 市歌 - 福良公民館駐車場の排水対策 - 議員としてやり残した事 - 防犯カメラ
熊田 司	- 教育 - 子育て - 福祉 - 観光
木場 徹	- コミュニティバス事業の充実 - ゴミ収集 - 人口減少対策 - 水産振興策
蔭山 順子	- 沼島の離島留学 - 市内温浴施設 - 元気の森「文化体育館」等のWi-Fi整備 - 耕作放棄田 - 地元要望

議員名	質問内容
谷口 博文	- 農業、漁業、酪農、畜産業の振興対策 - 食料自給率 - 防災対策
吉田 良子	- 国民健康保険の取組 - 後期高齢者医療保険料 - 介護保険料 - 地域交通の課題 - 女性活躍への取組 - 環境整備
大江 幸司	- 志知城跡を活かした地域振興 - 倒壊の危険がある空家対策 - 本市におけるエネルギー政策の現状
長江 和代	- 誰一人も取り残さないために - 農業支援 - 道路整備
仲野 加枝	- 全国的な小中学生の学力低下 - こども医療費助成制度の所得制限 - 期限切れワクチンの接種 - 津井幼稚園の今後 - 観光と住環境の保全の両立
原口 育大	- CS（化学物質過敏症） - あわじ環境未来島構想 - オーガニック給食と食育 - 地域要望への対応
中村三千雄	どうなる、どうする、南あわじ市の2050年にむけて
北条志津子	- 人に寄り添う地域公共交通の利便性 - 淡路ファームパークイングランドの丘の現状と課題 - 安全安心なまち、防災・災害への備え - 観光振興のためのキャラクター
印部 久信	ゴミ処理
土井 巧	- 学校教育 - 農業振興施策

議案の審査で こんな議論をしました（会期：7月31日～8月5日）

令和7年度一般会計補正予算（第2号）

■議案内容

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ8,100万円を追加。

▶介護予防・地域ささえあいサポート拠点（湯の川荘）整備事業補助金4,600万円の追加

■主な質疑

問 湯の川荘を拠点とした理由は。

答 高齢者が多く通う、入浴設備を備えた市直営の老人福祉センターであり、事業を実施するのに適していると判断したため。

問 実施主体はどこか。

答 市の直営で考えており、専任のコーディネーターを配置する。

問 実施目的は。

答 いきいき百歳体操や健康教室、入浴、買い物、食事の場として、さらには趣味活動や娯楽の場として、送迎支援も含めた複合型の介護予防拠点を整備することで、フレイル予防から通所サービス終了後の社会参加までを一体的に支えることが目的である。

問 施設使用料はいるのか。

答 使用料の徴収は想定していないが、入浴料に関しては、現行の利用料をいただく。

問 旧町ごとにこのような施設を作っていくのか。

答 今回のモデル事業の成果を踏まえ考えていきたい。

▶湯の川荘改修工事費3,440万円の追加

問 内容に浴場の改修が入っていないのでは。

答 国の補助対象が令和7年度内に完了した工事となっていることから、令和7年度内で実施可能な改修とした。

■議決結果

賛成多数で原案可決。



▲老人福祉センター湯の川荘

議決結果一覧

■全議員賛成の議案

提出者	議案名	議決結果
市長	令和7年度一般会計補正予算（第2号）	原案可決
市長	道の駅うずしおりリニューアル工事請負変更契約の締結	原案可決

一部事務組合などの議会報告

兵庫県後期高齢者医療広域連合

▼第2回定例会〈8月18日〉

令和6年度一般会計、特別会計決算を認定。

令和7年度一般会計補正予算（第1号）、特別会計補正予算（第1号）を可決。

副広域連合長に丸谷聡子氏（明石市長）を選任した。

淡路広域水道企業団

▼第3回定例会〈8月21日〉

令和6年度水道事業会計決算を認定。

水道事業経営審議会条例制定、地方公務員の育児休業等に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定などを可決。

監査委員に山名実氏（淡路市）の選任に同意。

阿部議員が一般質問を行った。

淡路広域行政事務組合

▼第3回定例会〈8月21日〉

令和6年度一般会計歳入歳出決算を認定。

令和7年度一般会計補正予算（第1号）、職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定を可決。

議長に岨下博史議員（淡路市）を選任。

監査委員に石岡義恒議員（淡路市）の選任に同意。

阿部議員が一般質問を行った。

淡路広域消防事務組合

▼第3回定例会〈8月21日〉

令和6年度一般会計歳入歳出決算を認定。

南淡分署庁舎建設工事請負契約の締結、職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定などを可決。

副議長に古山久則議員（淡路市）を選出。

監査委員に山名実氏（淡路市）の選任に同意。

阿部議員が一般質問を行った。

南あわじ市・洲本市小中学校組合

▼第3回臨時会〈8月28日〉

狩野時夫氏（洲本市）を教育委員に任命することに同意。

臨時会、定例会の日程

任期満了に伴う市議会議員選挙（10月26日投開票）が行われました。

市議会では、11月下旬に臨時会を開催し、議長選挙や新たな委員会構成を決定します。また、12月に定例会を開催します。

日程は決まり次第、市ホームページに掲載します。

右のQRコードを読み取っていただくか、南あわじ市のホームページからご確認ください。



南あわじ市議会HP



市のホームページから「南あわじ市議会」をクリックしてください。

1年間の調査報告

9月定例会で、各委員会から令和6年11月から1年間の活動報告が行われました。その結果を報告します。

総務文教常任委員会

▶市の総合的企画、調整

今後、過疎地域や高齢者の交通移動手段に十分対応できるように、民間事業者からの車両調達や費用に関する相談などがあれば、迅速に協議し、支援体制を整えていただきたい。

▶消防・防災対策の推進

災害時の避難所での温かい食事は、被災者の心身の健康維持に繋がる。調理可能な施設の建設やキッチンカーを所有する業者との協定締結を視野に入れ、災害に備えていただきたい。

子どもたちの将来を見据えた教育環境の整備を！

▶教育の充実、文化・スポーツの振興と関係施設の整備

部活動の地域移行について、今後の見通しを保護者にわかりやすく伝えることで、理解促進と円滑な実施が期待できる。また、指導者の負担軽減と地域の教育力向上に焦点を置き、地域での持続可能な部活動受入れ体制を整備していただきたい。



■事業評価

事業：学ぶ楽しさ日本一

評価結果：改善し継続する

教育現場の負担軽減と保護者や地域住民の理解と協力を得るために、取組の成果を提示し、継続的に評価・検証する仕組みづくりや地域間に格差がでないような支援体制が必要である。将来を見据えた中長期的な視点での計画や柔軟な改善が求められる。

教育の質の向上と地域全体で支える教育環境づくりに努めていただきたい。

市長に
提言

産業厚生常任委員会

▶生活環境の整備推進

今年度からごみの再資源化と減量化ををさらに推進するため、製品プラスチックごみの分別が新たに追加された。これは現在建設中の広域ごみ処理施設の負担金の割合がごみの量によって影響を与える可能性があるためである。市民へ分かりやすい説明や掲示物の工夫、事業系ごみの減量化に向けた啓発強化に努めていただきたい。

▶高齢化社会対策

老人クラブの在り方につい

市民の生活に寄り添った支援体制の構築を！

て、役員への成り手不足や負担感をできるだけ払拭し、興味が惹かれるような活動や活動にかかる事務の軽減も考慮し、コミュニティの維持を堅持していただきたい。

▶農業振興の推進

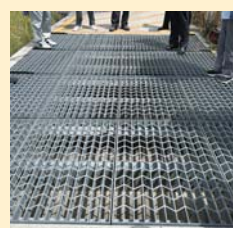
米価の高騰が続く中、市内の作付面積は昨年度より増加している。一次産業を守ることは自然環境や生態系の保全にも繋がり、環境に配慮した地域づくりにもなるので、農業者に寄り添った指導・助言に努めていただきたい。

■事業評価

事業：有害鳥獣対策

評価結果：改善し継続する

一定の成果が見られ、地域課題に即した取組は評価されるが、猟師の高齢化や担い手不足、捕獲後の処理体制が課題である。また、成果の「見える化」を通じ、地域の理解と協力を促進すべきである。



▲鹿よけのテキサスゲートグレーチング

市長に
提言

議会広報広聴常任委員会

▶広報活動

①議会広報誌の発行

視察研修等で学んだことを生かし、市民にとって読みやすい「議会だより」とするため、文字数の削減などを行った。また、身近に感じてもらうように、委員が市内の施設やイベントに出向き、市民や観光客にインタビューし、記事を掲載した。

②防災行政無線での告知放送

放送予定日などのお知らせを行った。

③YouTubeでの動画配信

もっと身近な「議会だより」に！

ライブ配信に加え、令和7年3月定例会より録画配信を開始した。

広報活動は市民が議会に興味関心を持ってもらうことを目的とし、定例会の傍聴者増加、議会の活性化につながるよう、今後見える議会活動として積極的に取り組んでいきたい。

▶広聴活動

①議会報告会

令和7年5月9日に市地区公民館で開催した。

②子ども議会

令和7年8月6日に開催した。今後も、子どもたちの多様な意見を聴く機会として、また、未来を担う子どもたちが政治や行政に関心を持ち、学ぶ機会となるように子ども議会を継続していきたい。

市民にとって「開かれた議会」となるよう、今後も継続して開催し、さらなる議員活動の充実につなげていきたい。



議会運営委員会

▶議会運営に関する事項

①毎月定例的に議会運営についての協議を行った。

②タブレット小委員会において、改選以降もタブレット端末を引き続き使用することとした。

③議会が注視する事業について、様々な見地から検証を行い、評価し、執行機関へ提言を行う事業評価を実施した。総務文教常任委員会及び産業厚生常任委員会において評価した結果及び提言を市長へ提出した。

市長に提言を行う事業評価を本格実施！

▶議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項

①地方自治法の一部改正により、災害時や介護・看護で委員会室に来ることができない場合、オンラインでの出席を可能とするため、南あわじ市議会会議規則及び南あわじ市議会委員会条例の一部を改正した。

②議場システム更新に伴い、表決の際、電子表決システムを利用できるように改正した。

▶議長の諮問に関する事項

南あわじ市議会議員研修会において、地方議員研究会統括コンサルタントの川本達志氏を招き、「役所を動かす質問の仕方」をテーマに研修を受講した。



お買い物中の あなたにインタビュー!

市民のみなさんの暮らしについて調査しました。



子どもの好きなお菓子や乳製品が高くなった。センターパークで遊べないので、早く三原庁舎跡に公園を整備してほしい。(市在住)



物価高騰は仕方ないが、こども生活応援商品券をまたやってほしい。ドラッグストアなどでも使えるとうれしい。(松帆在住)

何もかも値上がりしているが、給料は上がらない。プレミアム付商品券を年に1回出してほしい。(湊在住)



備蓄米を買っていないので、三食をパンにした。福良はバス停からバス停の間が長いので、途中にバス停を作してほしい。(福良在住)

サッカーの練習場に日よけや運動ができる公園があったらいいな。(賀集在住)



知らない間に、社会保険料がだんだん高くなってきていることが気がかり。(広田在住)



編集後記

議会主催による子ども議会が夏休みに無事終了しました。この行事は子どもたちに政治に関心を持っていただくことを目的に、教育の一貫として行われ11年目となりました。それぞれのクラスで市政について考えられたと思いますが、その様子を伝える機会がないのが少し残念です。

子どもたちにとって、多くの傍聴者が見守る中、初めての議場で質問する経験は、大人になっても忘れることのない思い出となり、一生懸命考えられた質問は、南あわじ市の将来に大きな影響を与えることと思います。

多くの関係者のご協力に心より感謝申し上げます。

(廣内)

議会広報広聴 常任委員会

長江 和代
廣内 孝次
長船 吉博
北条志津子
吉田 良子
木場 徹